

第13回 産学人材支援プログラム 「学生のための精密工学先端技術講演会」報告

2025年10月25日(土)に第13回産学人材支援プログラム「学生のための精密工学先端技術講演会」を板橋区立文化会館(東京都板橋区)にて開催いたしました。事業企画委員長の筆者より、開催報告をさせていただきます。

学生向けの本講演会は今年で13回目となりますが、精密工学を基盤とした企業に自社技術などをわかりやすく解説して頂き、さらに学生と企業の交流の場を設けるという趣旨で実施しています。今回は、本会賛助会員企業を主体として合計20社にご出展(ご講演)頂き、学生参加者も115名と大変盛況で、広い会場が狭いと感じるほどでした。本講演会は第一部(企業の先端技術講演)と第二部(展示ブースでの技術交流会)で構成していますが、今回は初の試みで第一部と第二部を同一会場で実施いたしました(図1)。



図1 今回は第一部と第二部を同一会場で実施

第一部の先端技術講演では、梅田事業部会長の開会あいさつに続いて、4つのセッションで各企業にご講演頂きました(図2)。前述したように、今回は同一会場内に企業の展示ブースも設置したので、学生はセッション間の休憩時間にブースを訪れて企業の方と対話していました。講演時間は従来どおり10分間でしたが、セッション後すぐにブースにて質問や追加説明ができたため、学生と企業の双方にご好評でした。次のセッション開始前に、運営委員から着席を促すアナウンスをするほど、休憩時間中の展示ブースは盛況でした(図3)。

第二部の技術交流会では、賛助会員・産学連携企画委員長であるジェイテクト・武田氏に乾杯のご挨拶を頂いた後、学生は興味をもった企業の展示ブースを順次訪れ、飲食を楽しみながら和やかで活気のある交流がなされていました。どの展示ブースでも、学生が会社や技術について積極的かつ熱心に質問し、企業の方も講演で紹介できなかった内容をポスター等で丁寧に説明されている様子が見られました。各社2~3人の説明員がおられましたが、飲み物を召し上がる時間がとれないほどブースは賑わっていました(図4)。

第二部では、今回も「学生に聞きたい13の質問」の回答結果の発表も行いました。これは、昨年の本講演会および直近3回の春季・秋季学術講演会(「企業と学生のつどい」)で

も実施しており、出展企業にあらかじめ「学生に聞きたい質問」を募集し、講演会当日に学生にオンラインで回答してもらいます。本講演会と春季・秋季大会では参加学生の層(学年など)が異なるため、同じ質問であっても学生の回答が異なるのが特徴です。今回は参加者の90%にあたる103名の学生に回答して頂き、回答者(参加者)の主な内訳は学部3年生(34%)、M1(27%)、4年生(15%)、学部2年生(8%)、残りが博士後期や高専の学生などでした。企業から頂いた主な質問は、「インターンシップで参加したいと思う日数は?」、「内定者へのフォローとしてやって欲しいことは?」、「本日



図2 第一部(先端技術講演会)の様子



図3 第一部セッション間(休憩時間)も展示ブースで対話

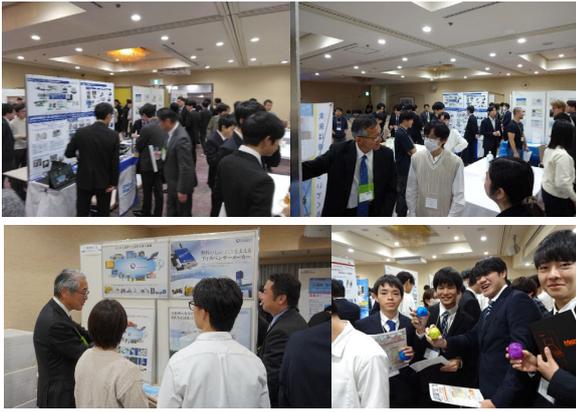


図4 第二部（技術交流会）の様子

時点で、新卒採用の選考を受けたことがありますか？」「仕事でやりがいを感じそうなのはどういう時？」「福利厚生で特に気になっていることは？」などで、本講演会だからこそ聞けるというような質問も多数ございました。その回答結果を紹介すると、会場から大きなよめきが起こったり、メモをとる企業の方や自身の考えとの違いに驚く学生などが見受けられました。その後の技術交流会では、それらの質問や回答を話のタネとしてさらに盛り上がったようです。なお、回答結果をまとめた資料は、本講演会終了後に出展企業に送付しております。

昨年同様、終了時間ギリギリまで学生は企業の方と対話されており、最後に事業部会長の梅田先生の一本締めで本講演会を無事に終了いたしました。

参加後の学生アンケートによれば、本講演会に満足したとの回答がほぼ100%で、さらに今後も同じ形式での開催が望ま

しいという回答が80%以上、95%の学生がこのような学会主催のキャリア支援イベントは必要と思うとのことでした。そして、「今回のイベントで精密機器業界の一部を知ることができてとてもよかった」、「また別のイベントがあれば参加したい」、「講演者に開発部の方が多く、現場の声を聞いている実感が湧いた」、「和やかな雰囲気企業の方とお話しできてよかった」、「普段聞くことができない企業の説明があり参考になった」などの意見が寄せられ、特に第二部の技術交流会がとても好評でした。

出展企業へのアンケートによれば、全ての企業から「満足」または「概ね満足」という回答と現行方式の本講演会の継続開催を望むという声が寄せられました。そして、「講演順が早いので不利かと思ったが、第一部と第二部が同じ会場だったために早くから学生と交流することができて非常に良かった」や「前半で話を聞いて興味を持った学生がブースに来てくれるため、有意義なコミュニケーションをとることができた」など、今回の開催方式（一会場で実施）に対する好意的なご意見が多数寄せられました。その他には、「多くの学生と会話できた」、「参加学生数と企業数のバランスが良かった」、「積極的な学生が多く、良い刺激を受けることができた」、「就職活動前の学生から等身大の意見をいただいた」などのご意見と、「電源があるとよい」や「少し狭かった」などの要望もございました。ご要望については、事業企画委員会で検討して、次回にできる限り反映いたします。

最後になりましたが、本講演会にご出展頂きました企業の皆様に、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

（記：事業企画委員長 金子 新）

当日のスケジュール（出展企業と講演題目）

第一部 先端技術紹介（13:00～17:10）

- 三井精機工業（株） 「三井精機の先端技術について」
- ヤマザキマザック（株） 「MAZAKのハイブリッド加工技術」
- 住友重機械工業（株） 「住友重機械工業のマイクロ減速機開発を支える研究事例と歯車加工技術の紹介」
- 日本ガイシ（株） 「日本ガイシの精密加工技術」
- （株）小坂研究所 「表面粗さ測定機の紹介ー測定機から検査機へー」

<休憩・展示ブース見学>

- オークマ（株） 「生産現場を支えるオークマのAI診断技術」
- 住友電工ハードメタル（株） 「住友電工の革新的工具開発」
- （株）ジェイテクト 「ジェイテクトにおける加工技術の紹介」
- （株）東京精密 「半導体製造における精密測定技術」
- 武蔵エンジニアリング（株） 「微小液体精密制御技術の紹介」

<休憩・展示ブース見学>

- 芝浦機械（株） 「芝浦機械の先端技術」
- （株）ハーモニック・ドライブ・システムズ 「ハーモニックドライブ®の特長と用途について」
- （株）ナガセインテグレックス 「構造最適化を駆使した超精密加工機の開発事例」
- DMG森精機（株） 「MXによる省エネルギー加工の実現」
- （株）FUJII 「電子部品実装ロボットの高速度位置決め技術」

<休憩・展示ブース見学>

- （株）ミットヨ 「未来を拓くミットヨの先進計測」
- ファナック（株） 「AIを活用した工作機械の熱変位補正」
- （株）アマダ 「アマダの最新レーザ加工技術」
- （株）日研工作所 「EV（電気自動車）部品加工用 Roller Evolution Drive」
- 三星ダイヤモンド工業（株） 「精密加工の未来を切り拓く、MDIの技術と革新力」

第二部 技術交流会（17:25～19:00）